

# 平成24年度の事業報告

## 事業の概要

(事業活動の三本柱)

### <1>社会福祉事業

「自動車購入費助成」「NPO基盤強化資金助成」および「海外助成」について、6月から11月にかけてそれぞれの募集を行い、選考委員会で助成先を決定しました。助成金贈呈式は各地の損保ジャパンの支店などで10月から2月に開催し、完了しました。

なお、地域の社会的課題の解決のためには、NPOが質を高め持続的に活動することが期待されている状況を踏まえ、今年度は「NPO基盤強化資金助成」については増額の上、内容を一部変更して実施しました。変更にあたっては、事前に募集対象地区（東北地区と東京を除く関東地区）の主要なNPO中間支援センターなどを訪問し、意見交換をした上で協力を依頼しました。

### <2>福祉諸科学事業

前年度に引き続き、損保ジャパンとの連携により「保険業法に関する研究会」を、また損保ジャパン総合研究所との連携により「福祉マネジメント研究会」を実施しました。

### <3>社会福祉学術文献表彰事業

社会福祉分野の学者、研究者の研究意欲を促進する一助となるべく、第13回損保ジャパン記念財団賞受賞記念講演会・シンポジウムを開催しました。また、第14回損保ジャパン記念財団賞の著書部門の受賞者を決定しました。

## (広報活動)

当財団はその活動を広く一般に公開するため、公募助成事業やその結果を全国の新聞社にニュースリリースするほか、「財団ニュース」を発行し、各種の取材に積極的に応じるなど力を入れてきました。

有力な広報手段としての当財団ホームページは、ますます重要な役割を果たしてきており、ホームページの整備と財団叢書のデジタルアーカイブ化などを引き続き行いました。ホームページ上では、過去の財団ニュース、最新の財団叢書のデータを公開しています。広く社会一般への広報の強化が図られると共に、保険学、社会福祉学の研究者への大きな支援になると思われます。

## (対外活動)

本来事業のほかに従来から業界活動・対外活動に積極的に取り組んでいます。

専務理事は（公財）日本障害者リハビリテーション協会と（公財）助成財団センターの評議員などに就任するほか、日本社会福祉学会、日本地域福祉学会等の学会行事、障害者団体やNPO関係の各種会合・大会に参加すると共に、NPO支援財団研究会にも主要メンバーとして積極的に参加しています。

また財団事務局としては、ボランティア推進を目的とした「ひろがれボランティアの輪連絡会議」の委員をしたり、「全国ボランティアフェスティバル」を初めとする大会などに参加しています。これらの対外活動は、損保ジャパングループの社会貢献活動の一端を担うと同時に各種情

報やノウハウ収集、ネットワークの拡大などで、財団運営にも活かされています。

平成24年度の事業のあらまは以下の通りです。

## 1. 社会福祉事業

### <1>自動車購入費助成（予算：1,200万円、実績：1,068万円）

東日本大震災の被災地支援の必要性から2年連続東日本地区を対象としていましたが、今年度は3年ぶりに西日本地区の障害者福祉団体を対象として募集しました。6月から7月にかけて公募したところ、131団体から応募があり、平成24年9月7日開催の選考委員会で、12団体に対し総額1,170万円の助成を決定しました。

助成先12団体のうち1団体について、助成決定後に団体の事情による助成辞退の相談があり、事情を確認した上で辞退届出書を受理しました。その結果今年度の助成は、以下の11団体に対し総額1,068万円の助成となりました。

平成24年度 自動車購入費助成先一覧

| 都道府県 | 団体名                           | 代表者（敬称略） | 助成金額   |
|------|-------------------------------|----------|--------|
| 兵庫県  | 特定非営利活動法人<br>いちばん星            | 山口 勇樹    | 70万円   |
| 奈良県  | 特定非営利活動法人<br>Msねっと            | 北島 真理    | 100万円  |
| 奈良県  | 特定非営利活動法人<br>地域密着型相談センター とまり木 | 山村 悦子    | 100万円  |
| 岡山県  | 特定非営利活動法人<br>津山市障害者福祉協会       | 藤田 勉     | 100万円  |
| 広島県  | 特定非営利活動法人<br>みどり              | 高畑 長吉    | 100万円  |
| 広島県  | 特定非営利活動法人<br>神辺育成会            | 瀬良 京子    | 100万円  |
| 愛媛県  | 特定非営利活動法人<br>今人倶楽部            | 鈴木 太     | 100万円  |
| 高知県  | 特定非営利活動法人<br>まあるい心ちゃれんじどの応援団  | 吉川 清志    | 98万円   |
| 熊本県  | 特定非営利活動法人<br>宇城きぼうの家          | 右山 剛     | 99.3万円 |
| 大分県  | 社会福祉法人<br>ぴいたあバンの家            | 中村 剛敏    | 100万円  |
| 沖縄県  | 特定非営利活動法人<br>障害児・者の問題行動支援センター | 宇地原 茂    | 100万円  |

＜2＞NPO基盤強化資金助成（予算：1,500万円、実績：1,502万円）

東日本大震災の被災地の復旧・復興に寄与する事業に予算を振り向けるために平成23年度に中断していた「NPO基盤強化資金助成」を復活いたしました。ただし、被災地域への引き続きの支援の必要性を考慮して、募集対象地域は東北地区と関東地区（除く東京）としました。

今年度はさらに、募集対象事業を障害者・高齢者分野限定から社会福祉全般に広げて、NPOの基盤強化となる「組織の強化」と「事業活動の強化」に必要な資金を助成しました。

10月から11月にかけて公募したところ、115団体から応募があり、平成24年12月18日開催の選考委員会で、以下の16団体に対し総額1,502万円の助成を決定しました。

なお、主に子供（障害児など）に関する福祉事業を行っている5団体（下表団体名に★）への助成金には株式会社損害保険ジャパンの社員有志の毎月の給与から集められる「ちきゅうくらぶ社会貢献ファンド」の200万円の寄付が含まれています。

平成24年度 NPO基盤強化資金助成先一覧

| 都道府県 | 団体名                                   | 代表者<br>(敬称略) | 助成対象事業                                       | 助成金額  |
|------|---------------------------------------|--------------|--|-------|
| 青森県  | 特定非営利活動法人<br>あおもりNPOサポート<br>センター      | 田中 弘子        | NPO 法人会計基準の普及<br>及び認定NPO法人制度セ<br>ミナー         | 100万円 |
| 岩手県  | 特定非営利活動法人<br>いわてパノラマ福祉館               | 高館 美保子       | いわてパノラマ福祉館<br>運営体制強化事業                       | 100万円 |
| 宮城県  | 特定非営利活動法人<br>輝らら会 (★)                 | 山田 法生        | 障がい児のための<br>レクリエーション活動                       | 90万円  |
| 宮城県  | 認定特定非営利活動法人<br>みやぎ発達障害サポート<br>ネット (★) | 相馬 潤子        | 自閉症／発達障害のあ<br>る子供たちへの療育支<br>援事業              | 100万円 |
| 宮城県  | 特定非営利活動法人<br>あかねグループ                  | 武田 美江子       | 5年後の活発な事業の展<br>開の基礎づくり                       | 100万円 |
| 山形県  | 特定非営利活動法人<br>サポート唯                    | 鹿野 順子        | 支援者拡大の広報活動<br>とスキルアップ事業                      | 100万円 |
| 山形県  | 特定非営利活動法人<br>論語に学ぶ会やまがた               | 長沼 敦昌        | 認定NPO法人申請に関す<br>る研修及び新会計基準<br>研修             | 100万円 |
| 福島県  | 特定非営利活動法人<br>福島市聴覚障害者福祉会              | 佐久間 修一       | 地域活動支援センター<br>から就労継続B型に移行<br>のための物品補充事業      | 20万円  |
| 福島県  | 特定非営利活動法人<br>ちよぼら (★)                 | 平田 恵         | 重度障がい児にも最適<br>バリアフリー子ども服<br>ブランド「メニーミニ<br>ー」 | 100万円 |
| 福島県  | 特定非営利活動法人<br>フォルテ                     | 小原 富美子       | 手作りの天然酵母パン<br>ならフォルテに任せて<br>ください事業           | 100万円 |
| 茨城県  | 特定非営利活動法人<br>ドリームたんぽぽ                 | 中村 朋子        | 中長期ビジョンを踏ま<br>えた組織基盤強化事業                     | 92万円  |

|      |                             |        |   |       |
|------|-----------------------------|--------|---|-------|
| 栃木県  | 特定非営利活動法人<br>チャイルドラインとちぎ(★) | 松江 比佐子 | 自立と基盤強化から目<br>指せ認定 NPO!                           | 100万円 |
| 埼玉県  | 特定非営利活動法人<br>なかよしねっと(★)     | 豊喜 玲子  | 障がい者の働く場・社会<br>参加の場としてのコミ<br>ュニティカフェ『なかよ<br>しかふえ』 | 100万円 |
| 千葉県  | 特定非営利活動法人<br>東葛市民後見人の会      | 星野 征朗  | 「超高齢社会を支える法<br>人市民後見推進事業」                         | 100万円 |
| 千葉県  | 特定非営利活動法人<br>NPO支援センターちば    | 恵 小百合  | 食農・福祉プロジェクト<br>基盤強化のための環境<br>整備                   | 100万円 |
| 神奈川県 | 特定非営利活動法人<br>アスタPC          | 平井 晃   | 印刷物受注強化事業   | 100万円 |

<3>海外助成(予算:400万円、実績:400万円)

海外の社会福祉の向上を目的に「海外助成」を実施しました。昨年度に引き続きASEAN加盟10カ国(ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)に所在し、社会福祉分野で活動する非営利団体を対象に10月から11月にかけて公募したところ、募集対象国に在住する日本企業の現地駐在員の推薦による8件の応募があり、平成24年12月18日開催の選考委員会で、以下の6団体に対し総額400万円の助成を決定しました。

平成24年度 海外助成先一覧

| 国      | 団体名   | 助成金の使途  | 助成金額  |
|--------|---|---|-------|
| シンガポール | Singapore Disability Sports Council   | 障害者スポーツの振興を目的とした障害児水泳大会の開催費。                                | 50万円  |
| マレーシア  | Rajang central zone Community Service Association(RCS),   | 障害者のデイセンターの衛生環境改善費(ネズミから食料を守るための冷蔵庫・食料保管庫、実習のための調理台などの購入費)。 | 50万円  |
| フィリピン  | Adaptive Technology for Rehabilitation, Integration and Empowerment of the Visually Impaired (ATRIEV) | IT技術の習得による視覚障害者の就労支援(PCと周辺機器購入費)。地方でトレーニングを実施するための必要器材購入費。  | 80万円  |
| タイ     | Foundation for Women  | 女性(女兒)の人権保護等を目的とした団体の活動を推進するリーダー育成にかかる費用など。                 | 100万円 |
| タイ     | AUTISTIC THAI CHONBURI CENTER   | 自閉症児支援センターのプロジェクト運営費(乗馬セラピー、絵画や縫い物教室など)。                    | 50万円  |
| ミャンマー  | Free Funeral Services Society   | 貧困者支援を行う団体の無償医療の提供などにかかる費用。                                 | 70万円  |

<4> 「会議会合・国際交流費等助成」・「地域災害等緊急対策助成」

(予算：合算で500万円、実績230万円)

(1) 会議会合・国際交流費助成

以下の通り、2件230万円の助成を実施しました。

| 助成先団体名・申請内容  | 助成金額<br>(万円) |
|--|--------------|
| 日本障害フォーラム (JDF)<br>「障害者の権利条約推進 全国キャンペーン」           | 200          |
| NPO法人日本せきずい基金<br>「シンポジウム「Walk Again 2012：再生医療と脳科学」 | 30           |

① 「JDF (日本障害フォーラム) 代表 小川榮一」

「障害者の権利条約推進 全国キャンペーン」に関わる会議会合費助成 200万円

日本の障害者団体の連合組織である「日本障害フォーラム (JDF: Japan Disability Forum)」は、2006年に国連にて採択された「障害者の権利条約」を日本で批准するプロセスに際して、障害者団体をはじめとする市民の立場から、全国の障害者・関係者・一般市民に条約の主旨を周知するとともに、草の根レベルでの障害者の権利擁護を活性化することを目的とする全国キャンペーンを実施しています。

「障害者の権利条約」は今後の日本の障害者施策に大きな影響を与えるものであり、わが国の高齢化の状況を考えれば、単に障害者だけの問題ではなく国民全体の問題として取り組むべきものであることから、当財団では「障害者の権利条約」の批准に向けたJDFの取組みを平成15年度から継続して支援してまいりました。引き続き、条約の批准に向けた活動を支援するものとして、1件200万円の助成を平成24年5月25日の選考委員会で決定しました。

② 「NPO法人日本せきずい基金 (代表者 大濱眞)

「シンポジウム「Walk Again 2012：再生医療と脳科学」に関わる会議会合費助成 30万円

NPO法人日本せきずい基金は、交通事故やスポーツ事故などにより脊柱内の脊髄が損傷することで障害を負った患者やその家族への支援活動を行っています。

iPS細胞をはじめとする幹細胞研究が目覚ましく進展し臨床研究が視野に入ってきており、脳科学と幹細胞生物学のコンビネーションが重度障害者の運動・感覚機能の回復を可能にしようとしています。NPO法人日本せきずい基金では、これらの分野の最先端の研究者が患者や家族に研究動向を語る場として、毎年シンポジウムを企画開催しているが、この開催運営費の一部を支援するものとして、1件30万円の助成を平成24年9月7日の選考委員会で決定しました。

<シンポジウム「Walk Again 2012：再生医療と脳科学」>

日時：平成24年10月6日 (土)

場所：東京国際交流館 国際交流会議場

講演者：岡野 栄之 (慶應義塾大学教授)、他3名

(2) 地域災害等緊急対策助成

今年度は、地域災害等緊急対策助成はありませんでした。

## 2. 福祉諸科学事業

### <1>研究助成（予算：200万円、実績：200万円）

第1回福祉諸科学事業選考委員会（平成24年7月19日開催）で、1件200万円の研究助成を決定しました。助成内容は次の通りです。

| 申請者                     | 研究題目  | 助成金額<br>(万円) |
|-------------------------|---|--------------|
| 日本社会福祉系学会連合<br>会長 野口 定久 | 東日本大震災の復興に向けての医療・福祉・介護専門職の包括ケアシステムの構築に関する研究 | 200          |

\*同一の申請者の研究題目「東日本大震災の復興に向けての社会福祉調査および提言に関する研究」に対して平成23年度に実施した研究助成の継続案件。

### <2>研究会

本年度は以下の2つの研究会について、株式会社損害保険ジャパン文書法務部、株式会社損保ジャパン総合研究所と連携を緊密にして運営してまいりました。

#### (1) 保険業法に関する研究会

主査：山下友信（東京大学大学院教授）

株式会社損害保険ジャパン文書法務部と連携し、第34回研究会「保険法と実務—保険金支払義務の履行期について—」を平成25年1月29日に、また、第35回研究会「傷害保険契約における保険事故と偶然性・外来性」を3月26日に開催しました。

#### (2) 福祉マネジメント研究会

主査：大橋謙策（公益財団法人テクノエイド協会理事長）

平成21年に設置された本研究会では、平成24年3月にそれまでの研究内容を財団叢書No.80『福祉分野における社会企業の創業・展開と人材育成』として刊行しました。（第1期研究会）

本年度は第1期研究会の内容を具体化すべく、引き続き株式会社損保ジャパン総合研究所と連携して第2期研究会をスタートさせ、社会企業家の人材育成に必要な「カリキュラム（教程）」「テキスト（理論編）」「テキスト（ケーススタディ編）」および「講師用参照資料」などの作成を目的とした作業部会を立ち上げ、活動をしました。

### 3. 社会福祉学術文献表彰事業（損保ジャパン記念財団賞）

#### <1>講演会・シンポジウムの開催

第13回損保ジャパン記念財団賞受賞記念講演会・シンポジウムを開催しました。この講演会は、受賞者に研究発表の場を提供するだけでなく、人材育成の一助として講演会終了後、審査委員や顧問の先生方と講演会に参加した若手研究者との交流会を開催しています。当日は、シンポジウムも同時に開催しました。

#### 【第13回損保ジャパン記念財団賞】受賞者記念講演会・シンポジウムの開催概要】

日時：平成24年7月1日（日）午後1時から午後5時

場所：グランドアーク半蔵門

次第：

##### 第1部：受賞者記念講演会

受賞著書：「ボランティア」の誕生と終焉ー（贈与のパラドックス）の知識社会学

受賞者（発表者）：仁平 典宏氏（法政大学社会学部准教授）

##### 第2部：シンポジウム

テーマ：「ボランティア活動の本質はなにかー災害ボランティアの活動からー」

コーディネーター：

白澤 政和氏（桜美林大学大学院老年学研究科教授、日本社会福祉学会会長）

シンポジスト：

上野谷 加代子氏（同志社大学大学院教授）

池田 昌弘氏（東北関東大震災・共同支援ネットワーク事務局長、

特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター理事長）

長谷部 治氏（社会福祉法人神戸市社会福祉協議会、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議臨時委員）

コメンテーター：仁平 典宏氏（法政大学社会学部准教授）

#### <2>叢書発行

上記の講演会とシンポジウムの内容を財団叢書No. 83『第13回損保ジャパン記念財団賞 受賞者記念講演録』として3月刊行しました。

#### <3>平成24年度「損保ジャパン記念財団賞」の実施

平成24年度の損保ジャパン記念財団賞は、指定推薦者から著書部門で16件15編、論文部門で5件5編が推薦されました。

審査委員会は平成24年10月13日、平成24年12月2日、平成25年1月14日の3回に亘り、当財団会議室にて開催されました。審査委員会において慎重な審査の結果、著書部門において以下記載の著書1編が授賞に相応しい候補文献として選定され、平成25年2月15日の理事会で決定されました。なお、論文部門は該当無しとなりました。

受賞著書：「児童養護施設の子どもの生活過程ー子どもたちはなぜ排除状態から抜け出せないのか」（明石書店 2011年11月発行）

受賞者：谷口 由希子（日本福祉大学福祉社会開発研究所研究員）

贈呈式は平成25年3月14日に損害保険ジャパン本社ビル43階にて開催しました。  
表彰内容は次の通り。 著書部門： 賞状 記念品 研究・出版助成金 100万円  
なお、受賞した著書の出版社である明石書店に対し、感謝状及び記念品を贈呈しました。

#### 4. その他の特記事項

##### <1>内閣府への届出

平成24年6月29日 平成23年度（公益財団移行後第1期）の事業報告等の提出をしました。

平成24年7月24日 理事および評議員の変更の届出をしました。

（平成24年6月28日に就任した10名の理事（1名の代表理事を含む）および4名の評議員の  
登記を平成24年7月11日に実施し、7月24日に内閣府に届出）

平成25年3月19日 プログラム（基盤強化資金助成と損保ジャパン記念財団賞）の変更届を行いました。

平成25年3月27日 平成25年度の事業計画等の提出をしました。



## 庶務の概要

### 1. 役員等に関する事項

役員等の氏名は次の通り。(常勤者に「常勤」表示) (五十音順、平成25年5月1日現在)

| 職名   | 氏名     | 摘要                          |
|------|--------|-----------------------------|
| 理事長  | 佐藤 正敏  | 株式会社損害保険ジャパン取締役会長           |
| 専務理事 | 岡林 秀樹  | (常勤) 公益財団法人損保ジャパン記念財団専務理事   |
| 理事   | 鴻 常夫   | 法学博士 東京大学名誉教授・弁護士           |
|      | 大橋 謙策  | 公益財団法人テクノエイド協会理事長           |
|      | 田中 滋   | 慶応義塾大学大学院教授                 |
|      | 古川 貞二郎 | 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会理事長・元内閣官房副長官 |
|      | 三浦 文夫  | 日本社会事業大学名誉教授                |
|      | 森脇 昭夫  | 名古屋大学名誉教授                   |
|      | 和田 正江  | 主婦連合会副会長                    |
| 監事   | 斎藤 昭一  | 公認会計士 日本化薬(株)社外監査役          |
|      | 新里 智弘  | 公認会計士                       |
| 評議員  | 池田 輝彦  | みずほ信託銀行株式会社顧問               |
|      | 石田 満   | 法学博士 上智大学名誉教授               |
|      | 板山 賢治  | 社会福祉法人万葉の里理事長               |
|      | 江頭 憲治郎 | 法学博士 早稲田大学大学院法務研究科教授        |
|      | 大島 雄次  | 明治安田生命保険相互会社特別顧問            |
|      | 大塚 義治  | 日本赤十字社副社長                   |
|      | 落合 誠一  | 中央大学法科大学院教授                 |
|      | 金澤 理   | 法学博士 早稲田大学名誉教授              |
|      | 上村 一   | 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会会長           |
|      | 京極 高宣  | 社会福祉法人浴風会理事長                |
|      | 杉崎 重光  | ゴールドマン・サックス証券株式会社副会長        |
|      | 炭谷 茂   | 社会福祉法人恩賜財団済生会理事長            |
|      | 出口 裕康  | 株式会社損害保険ジャパン執行役員経営企画部特命部長   |
|      | 鳥居 泰彦  | 慶応義塾学事顧問                    |
|      | 西浦 英次  | 前財形住宅金融株式会社代表取締役社長          |
|      | 西崎 哲郎  | 東京国際コンサルティング株式会社会長          |
|      | 西澤 敬二  | 株式会社損害保険ジャパン取締役専務執行役員       |
|      | 福井 光壽  | 元社団法人東京都医師会会長               |
|      | 前田 晃伸  | みずほフィナンシャルグループ名誉顧問          |
|      | 三好 次夫  | 前ユニバース開発株式会社代表取締役社長         |
|      | 山下 友信  | 東京大学大学院教授                   |
|      | 吉川 弘之  | 独立行政法人科学技術振興機構研究開発戦略センター長   |
|      | 涌井 洋治  | 日本たばこ産業株式会社特別顧問             |

| 職名                       | 氏名  | 摘要  |
|--------------------------|---|---|
| 選考委員<br>(社会福祉)           | 板山 賢治<br>安藤 雄太<br>奥野 英子<br>関 正雄<br>竹中 浩治<br>中島 謙次   | 社会福祉法人万葉の里理事長<br>法政大学現代福祉学部兼任講師<br>日本リハビリテーション連携科学学会理事長<br>前株式会社損害保険ジャパン理事・CSR統括部長<br>前財団法人医療関連サービス振興会理事長<br>社会福祉法人中央共同募金会常務理事  |
| 選考委員<br>(福祉諸科学)          | 京極 高宣<br>高橋 紘士<br>小嶋 信弘<br>広井 良典<br>百瀬 剛<br>山下 友信   | 社会福祉法人浴風会理事長<br>国際医療福祉大学大学院教授<br>株式会社損害保険ジャパン経営企画部長<br>千葉大学法経学部教授<br>前株式会社損保ジャパン総合研究所取締役社長<br>東京大学大学院教授   |
| 審査委員<br>(社会福祉学術<br>文献表彰) | 白澤 政和<br>岩田 正美<br>小林 良二<br>芝野 松次郎<br>住居 広士<br>水巻 中正   | 桜美林大学大学院教授<br>日本女子大学教授<br>東洋大学教授<br>関西学院大学教授<br>県立広島大学大学院教授<br>国際医療福祉大学大学院教授  |
| 顧問                       | 浅野 仁<br>右田 紀久恵<br>大橋 宗夫<br>岡 登<br>岡本 民夫<br>杉崎 盛一郎<br>竹内 孝仁<br>高宮 洋一<br>田中 皓<br>田端 光美<br>西江 博俊<br>福山 和女<br>古川 孝順<br>堀内 生太郎<br>山崎 美貴子 | 関西福祉科学大学大学院研究科長<br>大阪府立大学名誉教授<br>元株式会社損保ジャパン総合研究所顧問<br>元損保ジャパンひまわり生命保険株式会社副会長<br>同志社大学名誉教授<br>健康保険組合連合会顧問<br>医学博士 国際医療福祉大学大学院教授<br>城西国際大学教授<br>公益財団法人助成財団センター専務理事<br>社会福祉学博士 日本女子大学名誉教授<br>社団法人日本産業退職者協会顧問<br>社会福祉学博士 ルーテル学院大学大学院研究科長<br>社会福祉学博士 西九州大学副学長<br>元財団法人安田火災(現損保ジャパン)記念財団専務理事<br>神奈川県立保健福祉大学顧問・名誉教授 |

## 2. 職員等に関する事項

従業員は次の通り。

(平成25年5月1日現在)

| 区分    | 氏名    | 就業年月日      | 備考               |
|-------|-------|------------|------------------|
| 事務局次長 | 丹保 有充 | 平成22年4月 1日 | (株)損害保険ジャパンより出向  |
| 主任    | 渡部 由里 | 平成20年9月 1日 |                  |
| スタッフ  | 尾根 桂子 | 平成25年4月 1日 | (株)キャリアビューローより派遣 |

## 3. 役員会等に関する事項

### (1) 理事会の開催

| 開催日  | 会議事項  | 結果  |
|--|---|---|
| 平成24年6月7日<br>第1回通常理事会  | 第1号議案：定時評議員会開催の件<br>第2号議案：平成23年度(公益財団法人移行第1期)の事業報告及び決算承認の件<br>第3号議案：評議員会へ提出する評議員候補者名簿の件<br>第4号議案：評議員会へ提出する理事候補者名簿の件<br>第5号議案：選考委員会委員(福祉諸科学事業)の選任の件(6月7日付)<br>報告事項1：資金運用の経過状況の件<br>報告事項2：役員賠償責任保険(D&O保険)団体契約加入の件の件<br>報告事項3：職務執行状況の件 | 全員一致で承認可決<br>全員一致で承認可決<br>全員一致で承認可決<br>全員一致で承認可決<br>全員一致で承認可決<br>全員了承<br>全員了承<br>全員了承 |
| 平成24年6月28日<br>第1回臨時理事会   | 第1号議案：理事長の選定の件<br>第2号議案：専務理事の選定の件<br>第3号議案：役員報酬の件   | 全員一致で承認可決<br>全員一致で承認可決<br>全員一致で承認可決   |
| (理事会の決議があったものとみなされた日)<br>平成25年2月15日<br>第2回臨時理事会<br>(定款第43条に定める理事会の決議の省略の方法による) | 第1号議案：平成24年度「損保ジャパン記念財団賞」選考の件   | 決議に参加できる理事全員の同意が得られ、かつ監事の承認が得られた  |

|  |   |   |
|--|---|---|
| 平成25年3月14日<br>第2回通常理事会   | 第1号議案:平成25年度の事業計画及び収支予算等の件<br>第2号議案:任期満了に伴う選考委員及び審査委員の選任の件(4月1日付)<br>第3号議案:任期満了に伴う顧問の選任の件<br>報告事項1:平成24年度の事業経過報告の件<br>報告事項2:理事長・専務理事の職務執行状況の件<br>報告事項3:公益財団法人日本興亜福祉財団との合併検討の件 | 全員一致で承認可決<br><br>全員一致で承認可決<br><br>全員一致で承認可決<br>全員了承<br>全員了承<br><br>全員了承 |
| (理事会の決議があったものとみなされた日)<br>平成25年3月29日<br>第3回臨時理事会<br>(定款第43条に定める理事会の決議の省略の方法による) | 第1号議案:事務局長選任の件  | 決議に参加できる理事全員の同意が得られ、かつ監事の承認が得られた  |

(2) 評議員会の開催

| 開催日                  | 会議事項   | 結果  |
|----------------------|--|---|
| 平成24年6月28日<br>定時評議員会 | 第1号議案:平成23年度(公益財団法人移行第1期)決算承認の件<br>第2号議案:評議員選任の件<br>第3号議案:理事の選任の件<br><br>報告事項1:平成23年度(公益財団法人移行後第1期)事業報告の件<br>報告事項2:平成24年度の事業計画及び収支予算等の件<br>報告事項3:審査委員会委員(社会福祉学術文献表彰事業)の選任の件<br>報告事項4:選考委員会委員(福祉諸科学事業)の選任の件(4月1日付)<br>報告事項5:役員賠償責任保険(D&O保険)団体契約加入の件 | 全員一致で承認可決<br><br>全員一致で承認可決<br>全員一致で承認可決<br><br>全員了承<br>全員了承<br>全員了承<br>全員了承<br>全員了承 |

(3) 選考委員会・審査委員会の開催

| 開催日         | 委員会の内容   |
|-------------|--|
| 平成24年 5月25日 | 第1回社会福祉事業選考委員会<br>会議会合・国際交流費助成の選考（1件の助成決定）   |
| 平成24年 7月19日 | 第1回福祉諸科学事業選考委員会<br>研究助成の選考（1件の助成決定）  |
| 平成24年 9月 7日 | 第2回社会福祉事業選考委員会<br>①「自動車購入費」助成の選考（12件の助成決定）<br>②会議会合・国際交流費助成の選考（1件の助成決定）<br>③NPO復興資金助成事業内容の変更 |
| 平成24年10月13日 | 第1回社会福祉学術文献表彰事業「損保ジャパン記念財団賞」審査委員会<br>(第1次審査)   |
| 平成24年12月 2日 | 第2回社会福祉学術文献表彰事業「損保ジャパン記念財団賞」審査委員会<br>(第2次審査)   |
| 平成24年12月18日 | 第3回社会福祉事業選考委員会<br>①「NPO基盤強化資金」助成の選考（16件の助成決定）<br>②海外助成の選考（6件の助成決定）                           |
| 平成25年 1月14日 | 第3回社会福祉学術文献表彰事業「損保ジャパン記念財団賞」審査委員会<br>(推薦文献1件の決定)   |

#### 4. 許可、認可および承認に関する事項

該当はありません

#### 5. 寄付金に関する事項

株式会社損害保険ジャパンより運用財産として、71,000,000円の寄付を受けました。

このほか運用財産として、法人18件1,970,000円、損保ジャパン職員団体による寄付2,000,000円、個人1,452,000円、合計5,422,000円の寄付を受けた結果、本年度の運用財産に関わる寄付金の合計は、76,422,000円となりました。なお、基本財産に関わる寄付はありませんでした。

| 寄 付 者 名                | 寄付金額<br>(千円) |
|------------------------|--------------|
| 株式会社 損害保険ジャパン          | 71,000       |
| ちきゅうくらぶ社会貢献ファンド        | 2,000        |
| 株式会社損保ジャパン企業保険サービス     | 100          |
| 株式会社全国訪問健康指導協会         | 200          |
| NKS J リスクマネジメント株式会社    | 100          |
| 株式会社損保ジャパン代理店サポート      | 100          |
| NKS J ビジネスサービス株式会社     | 70           |
| NKS J システムズ株式会社        | 100          |
| 株式会社損保ジャパン・ビルマネジメント    | 100          |
| 株式会社 損保ジャパン総合研究所       | 100          |
| 株式会社インシュアランスマネジメントサービス | 100          |
| 株式会社プライムアシスタンス         | 100          |
| 株式会社損保ジャパン・ハートフルライン    | 100          |
| 株式会社ジャパン保険サービス         | 100          |
| 株式会社キャリアビューロー          | 100          |
| 株式会社サンビルメンテナンス         | 100          |
| ユニバース開発株式会社            | 100          |
| 吉田印刷株式会社               | 100          |
| NKS J ひまわり生命保険株式会社     | 100          |
| その他（匿名含）               | 1,652        |
| 寄付金合計                  | 76,422       |

#### 6. 主務官庁指示に関する事項

該当はありません

#### 7. その他の重要事項

該当はありません。

以上